学校番号	1011

令和８年度　学 国際教養

教科	学 国際教養	科目	(学)日本理解	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」により入学した生徒を対象とし、渡日の浅い生徒が日本で生活する上で日本について必要な社会的文化的知識、常識などを身につけることを目的としています。

2　学習の到達目標

日本の理解を深め、日本の歴史などを学ぶことで日本への理解を深めている。
日本理解により、人の考え方や意見を理解することができる。
日本理解の学習を通して、日本の文化や歴史に興味を持ちコミュニケーション力を高めようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本について日本語で発表、紹介できる。 ・地図・ビデオなどにより、日本の現状を考察できる。 ・現代日本の理解を深めるとともに、日本の歴史などにも言及し日本理解力を高めている。 ・日本と母国との社会構造や文化、歴史を比較し国際理解の学力も高めている。	・日本理解により、人の考え方や意見を理解することができる。 ・自分の意見や考えを日本語で正しく表現する。 ・相手に伝えることができる日本語力と表現力を習得する。 ・日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。	日本理解の学習を通して、日本の文化や歴史に興味を持ち、日本で生活していくうえで重要な生活力、人間力、コミュニケーション力を高めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本での生活	日本の食生活や買い物のルール、日本の交通ルールを学ぶことで日本での生活をスムーズに過ごせるようにする。	a:日本についての知識、理解を深めることができる。 b: 日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。 c: 日本の文化や歴史に興味を持大切にしようとする意識がみられる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	日本の習慣	生活習慣やマナーやルールを学び日本文化の理解を深める	a:日本についての知識、理解を深めることができる。 b: 日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。 c: 日本の文化や歴史に興味を持大切にしようとする意識がみられる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	振り返りシート
2	日本の行事	桃の節句、子供の日、七夕、お月見などの四季を通しての日本の行事や観光を学び日本文化理解する	a:日本についての知識、理解を深めることができる。 b: 日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。 c: 日本の文化や歴史に興味を持大切にしようとする意識がみられる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	日本の歴史	おおまかな日本の歴史を学び日本社会とつながっている意識が持てるようにする	a:日本についての知識、理解を深めることができる。 b: 日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。 c: 日本の文化や歴史に興味を持大切にしようとする意識がみられる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	振り返りシート
3	日本伝統文化	日本の伝統文化の学習を通して日本文化の理解が深められるように学んでいく。	a:日本についての知識、理解を深めることができる。 b: 日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。 c: 日本の文化や歴史に興味を持大切にしようとする意識がみられる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	現代の日本	現代の日本文化、環境問題、経済の学習を通して日本文化の理解が深められるように学んでいく。	a:日本についての知識、理解を深めることができる。 b: 日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができる。 c: 日本の文化や歴史に興味を持大切にしようとする意識がみられる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度